



ふくやま草戸千軒ミュージアム 3月の行事案内



早春の展示「中世ものづくり」

3/14(日)まで!!



くさどっきー

せんちゃん

1 早春の展示

「中世ものづくり」



- (1) 会期 1月2日(土)～3月14日(日)
- (2) 会場 当館企画展示室
- (3) 内容 この展示会では、草戸千軒町遺跡の出土品を中心に、中世の人々が使用した様々な道具や器物を展示します。これらの品々を観察すると、より優れたものを追求した職人たちの高い技術力を知ることができます。その反面、多くの人々の手に渡るように、安価で大量生産できる方法を目指した職人たちの創意工夫も見てとれます。この展示会を通して、人々の生活をより豊かにした中世ものづくりを分かりやすく紹介します。
- (4) 入館料 常設展の入館料で御覧いただけます。
一般290円(220円), 大学生210円(160円), 小・中・高校生無料
※()内は20名以上の団体料金

クイズ なに作りようん??



答えは、博物館で!



ここに注目!



御家族で楽しんでいただけるよう、クイズを展示の各所に設置しました。

何を、どのように作っているのかは、展示を御覧ください!

展示室にあるクイズ

2 その他の展示 ※常設展の入館料が必要

(1) 通史展示室 ミニ展示

会期	タイトル	概要
1月26日(火) ～3月25日(木)	いしだよねたか 石田米孝コレクション 東アジアの古瓦	石田米孝コレクションは、山陽女子学園前理事長の故石田米孝氏が収集された中国・韓国・日本の古瓦等からなるコレクションです。平成24年に当館に寄贈されました。この展示では、コレクションの中から、中国古代を中心に東アジアの古瓦を紹介します。



文字文軒丸瓦(当館蔵)



展示品の御紹介

中国、漢(紀元前202～紀元後220年)の頃の軒丸瓦です。四分割された区画内には、「興天無極(天を興して極まりなし)」の文字があります。万物(天)が永遠に繁栄することを願う吉祥句です。このような軒丸瓦は、宮殿などの建築物に用いられました。

(2) 近世文化展示室 特集展示

会期	タイトル	概要
2月6日(土) ～3月28日(日)	かんちゃざん 菅茶山と白河藩	茶山は白河藩の松平定信(元老中)とその家臣たちと親しく交流しました。どんな交流なのかを示す資料を紹介します。



白河古関蹟真景(重要文化財菅茶山関係資料・当館蔵)



展示品の御紹介

白河関は、古くから歌枕の地としても有名でしたが、時代が下るにつれて場所が分からなくなっていました。松平定信は、寛政12年(1800)に調査を行い、場所を特定し、関跡に碑を建てました。この絵は、定信の家臣が描いた白河関付近の風景画で、後に茶山に贈られました。

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって、変更・中止になる場合があります。

開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

★3月の休館日★

3/1(月), 3/8(月), 3/15(月), 3/22(月), 3/29(月)

 **ふくやま 草戸千軒ミュージアム**
(広島県立歴史博物館)
HIROSHIMA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

〒720-0067 広島県福山市西町二丁目4-1
(TEL) 084-931-2513 (FAX) 084-931-2514
(e-mail) rhksoumu@pref.hiroshima.lg.jp